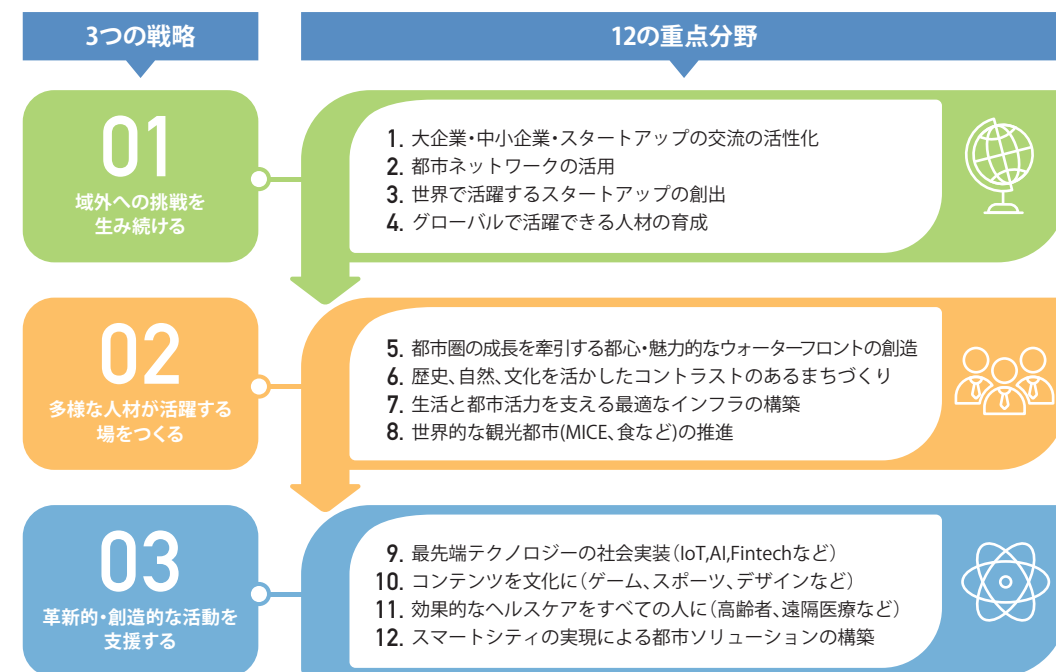


06 FDCの地域戦略

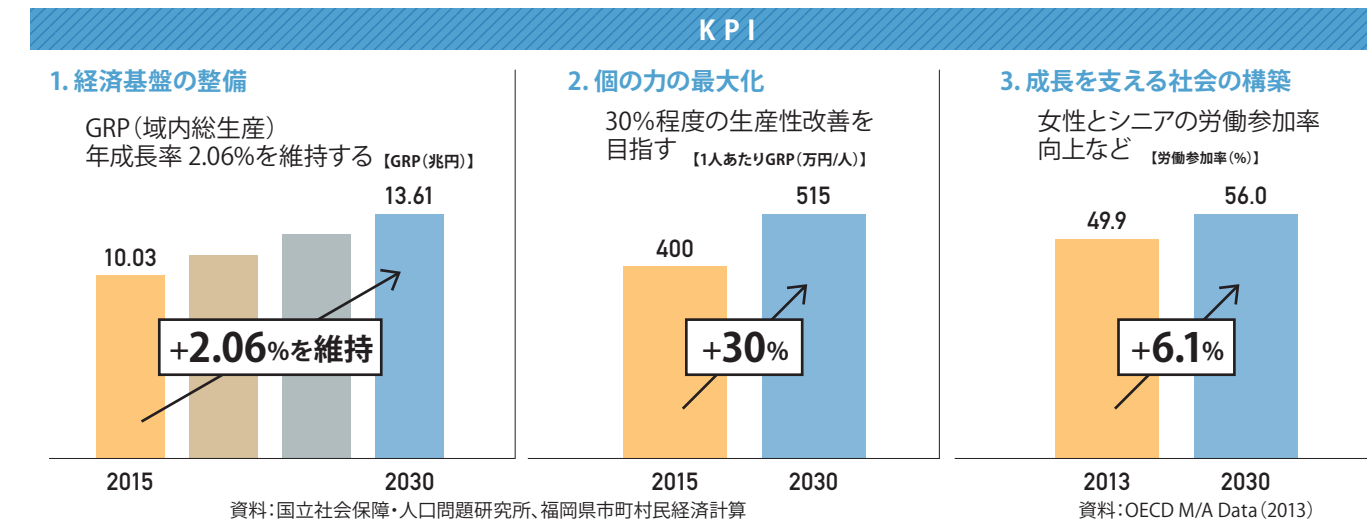
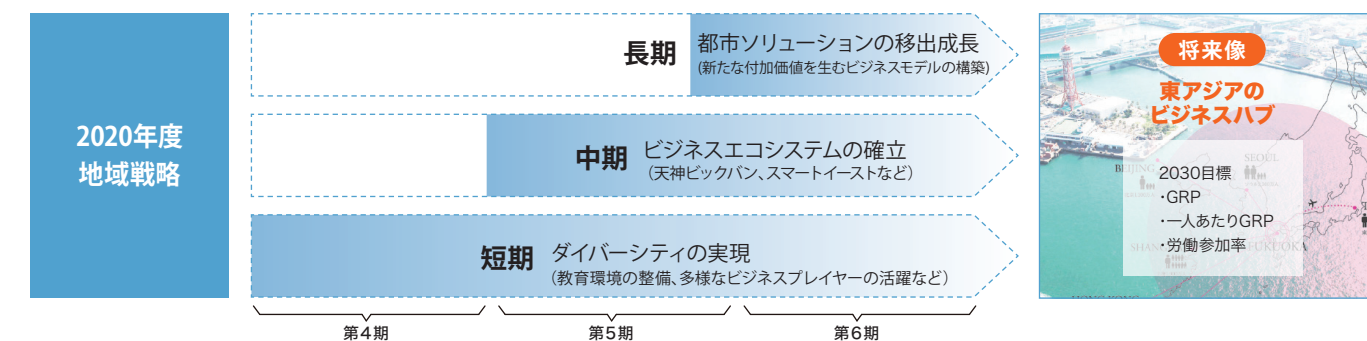
将来像 東アジアのビジネスハブ

戦略指針 交流の質をあげ、都市の成長と生活の質の向上の好循環を確固たるもの
〜「住みやすい」から「持続可能(SDGs)な成長」へ〜



工程の組み立て(短期・中期・長期)

以下の工程をもとに地域戦略を推進しています。



09 FDCの活用方法

① 地域戦略の担い手になる!

FDC会員は部会やプロジェクトに参加し、実際に担い手として地域戦略や事業を推進することができます。
政策提言を行う、コンソーシアムやプロジェクトで事業を検討するなど、活動領域は多彩です。

※部会、プロジェクトへの参加は正会員のみとなります。

② 新規事業開発に活用する!

FDCには、新規事業の創出を加速化させるための事業化支援体制である「FDC Launch Program[FLaP]」が設置されています。FDC会員や外部機関等との連携を探ることができるこのFLaPを活用して、新たな事業開発につなげてください。

③ 福岡の主要プレーヤー、海外とのネットワークを構築!

福岡でビジネスを行っていく上で、重要な役割を担っている各部会長をはじめ、会員や海外組織とのネットワークを構築できるチャンスがあります。会員向けの交流イベントも随時実施しています。

④ 地域戦略に関する情報にアクセス!

FDCには4つの部会(観光、スマートシティ、食、都市再生)や各種プロジェクトがあり、会員による活発な議論が行われています。地域の成長戦略に関する情報を今後の貴社の事業計画や営業計画の策定に生かすことができます。

リーダー Leader

産 会長
一般社団法人九州経済連合会
名誉会長
麻生 泰

学 副会長
国立大学法人九州大学
総長
石橋 達朗

官 副会長
福岡都市圏広域行政推進協議会
会長(福岡市長)
高島 宗一郎

国内経済が伸びない中で伸びる条件を持っている福岡市及び周辺地区の発展の可能性、使命、責任は大きい。アジアと隣接し、空も港も整備が強化され、首長にも恵まれています。FDCをベースにこの街を伸ばします。

社会が目まぐるしく変化する現代において、学術機関である大学が企業や自治体と連携して地域の発展に寄与することは非常に重要です。その理念を体現するFDCという組織のさらなる発展を目指していきます。

産学官民がタッグを組んで新たなビジネスや事業を創造するFDCは、福岡都市圏の発展のために欠かせない組織へと成長を遂げ、都市圏自治体にとっても大変貴重な存在です。今後も果敢に、さまざまなチャレンジを重ねてまいります。

福岡地域戦略推進協議会 事務局

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-8-1 博多区役所10階(公益財団法人福岡アジア都市研究所内)

TEL.092-710-7739 FAX.092-710-6433

URL <http://www.fukuoka-dc.jpn.com> E-mail info@fukuoka-dc.jpn.com

Fukuoka D.C.

Fukuoka Directive Council

福岡地域戦略推進協議会



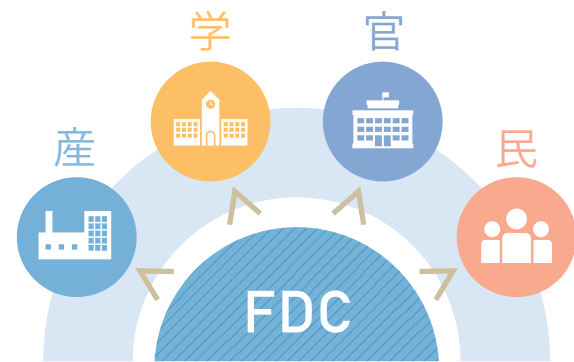
Fukuoka D.C.

01 FDCとはどのような組織？

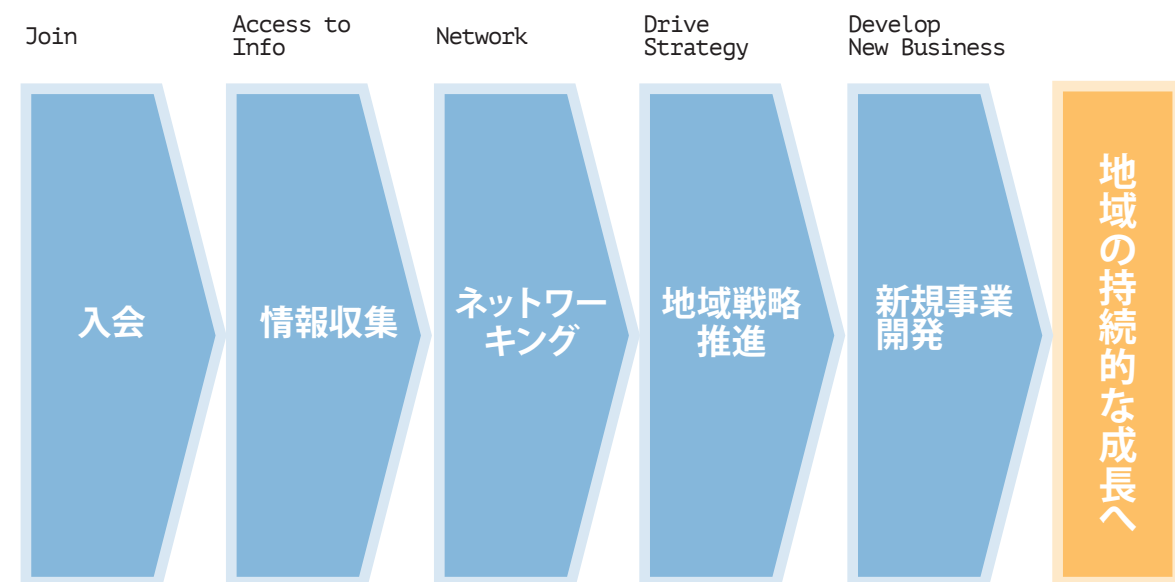
福岡地域戦略推進協議会（Fukuoka D.C.）とは、福岡の新しい将来像を描き、地域の国際競争力を強化するために成長戦略の策定から推進までを一貫して行う、産学官民一体のシンク＆ドゥタンクです。福岡都市圏を核として、九州、さらには隣接するアジア地域との連携を図り、事業性のあるプロジェクトを推進していきます。

03 FDCの成り立ち

- ①国際地域ベンチマーク協議会（IRBC）への参加により都市圏単位の産学官民連携が重要であることの共通認識を得た。
- ②「産学官民連携主体による地域づくり推進事業」にて、官民連携・民の政策過程関与が自発的な地域の活性化につながるの共通認識を得た。



05 FDCの活用イメージ



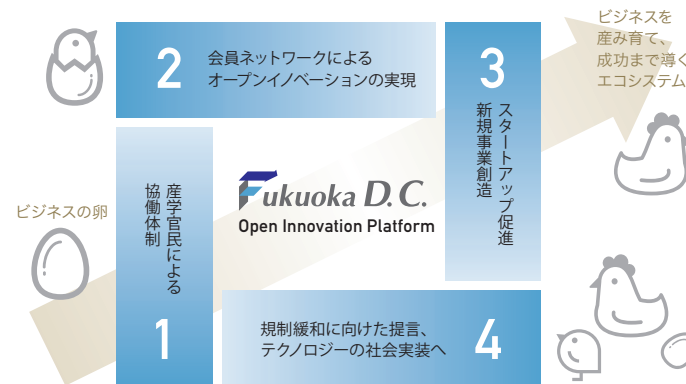
02 FDC設立趣意

- 地域経済のグローバル化（国際競争力強化）
- 産学官民が一体となったプラットフォーム
- 迅速な戦略の実行（事業組成など）
- 地域の成長モデルを福岡から世界に発信し、九州、日本、人類の発展に貢献

質を重視
した成長へ

04 FDCの目指す姿

FDCは200を超える会員を中心に、国際都市や国際機関との連携により、オープンイノベーションプラットフォームとして機能する事で、公共政策の連動や、会員企業の新規事業創造、スタートアップの成長などを通し、新たなサービスやテクノロジーの社会実装を推進します。



07 FDCの事業化支援

大きく2つの支援体制が存在し、事業創出プラットフォーム機能として、地域戦略に基づくビジネス開発や移出企業の成長を支援しています。

2つの支援体制

部会

部会長のもとで地域戦略に基づき産学官民が連携して福岡都市圏の大枠の方向性や、公共政策を伴う政策立案と実行を行う**政策連動**。

FDC Launch Program (FLaP)

FDCの事業化・コンソーシアム支援において、プロジェクトの運営、オープンイノベーション及び事業開発機能、企業の国際化と海外企業の誘致、事業展開支援を行う**事業化支援**。

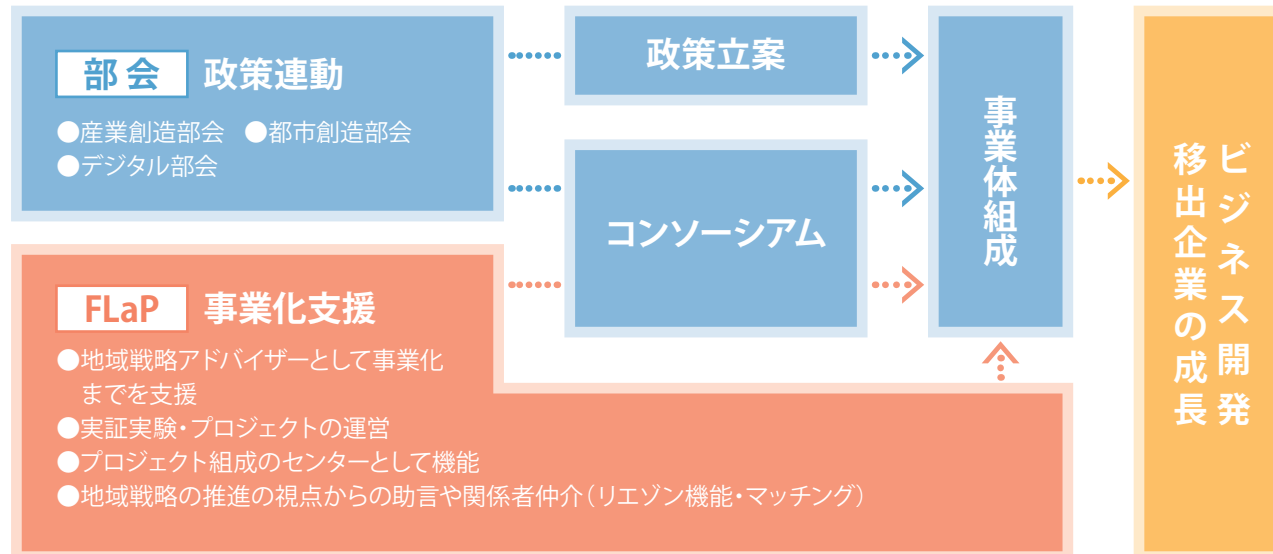
コンソーシアム

部会やFLaPから発生する、有志チームによる事業検討（詳細F/S※）の場。

※F/S…フィジビリティスタディ（feasibility study）とは、プロジェクトの実現可能性を事前に調査・検討すること



事業創出プラットフォームとしてのFDCの仕組み



08 FLaP-FDCの事業化支援体制

福岡都市圏をイノベーションのプラットフォームとして、200を超えるFDC会員を起点としたオープンイノベーションの実施や新規事業開発、企業の海外展開、海外企業の誘致など、福岡を起点とした事業の展開を加速化させていきます。

FDC Launch Program (FLaP) のビジョン

FDCの200を超える会員ネットワークや行政、国際機関との連携によりFLaPを運営する。事業構築プロセスの中でも、市場を理解し、ターゲット獲得方策とビジネスモデルを構築する「事業モデル化」、サービス及びビジネスモデルを詳細検討し、実行案を策定する「事業プラン化」、市場に打って出る「事業化・ビジネス化」のフェーズにおける事業化支援を行う。

●FLaPー事業化支援の主なメニュー

1. ビジネスマッチング（ビジネスパートナー、業務提携、販路開拓）
2. 資金調達（金融機関、ベンチャーキャピタル、アクセラレータファンド等）
3. 実証実験（プロトタイプの開発、実証実験フィールドの提供、地元調整）
4. アドバイザリー（ビジネスディベロップメント、プロモーションなど）

●FLaP特徴

FLaPは左記の支援に加え、FDC会員ネットワークを始めとする様々な事業創出プログラムを取りまとめることにより、他にはない重層的な事業支援体制を構築。

1. Fukuoka Mirai Incubation Program
2. Open Network Lab FUKUOKA
3. New Business Creation Program

会員サービス

正会員 6口以上(30万円から)

- 総会の議決権
- 部会への参加
- 部会資料DL
- コンソーシアム組成
- FDCサロン・ネットワーキング・交流会参加
- 知的財産物 利用可能
- FLaP支援全般

賛助会員 1口以上(5万円から)

- 資料DL（一部）
- FDCサロン・ネットワーキング・交流会参加

FDC会員のメリット

- 地域戦略の担い手となる
- 福岡の主要プレーヤー、海外とのネットワーク構築
- 新規事業開発に活用
- 地域戦略に関する情報にアクセス

